

平成28年7月 定例会 議事録

- ・日 時 : 平成28年7月7日(木)、19:00～20:45
- ・場 所 : 石川県NPO活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者 : 五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、山崎、吉田
(計6名)
- ・欠出席 : なし
- ・進行・記録 : 大竹

《議題》

1. 環境に優しい交通について
2. 金沢市集約都市形成計画骨子(案)のパブリックコメントについて
3. 中部地区路面電車サミット福井大会参加報告及び金沢市第2次交通戦略の新しい交通システム機種選定状況について
4. 今年度の事業計画(案)について
5. その他

《内容》

議題1について

- ・五十嵐氏から富山のLRTやイタリアのカーシェアリングなどを紹介する新聞記事(読売新聞)の情報提供があった。

議題2について

- ・現在、金沢市都市計画課では、7月25日(月)までパブリックコメントを実施している。意見がある方は、22日(金)までに大竹へメールで送付願いたい。紙で提出したい方はあいむ事務所カウンター下の郵便受け(当会は4番)に入れておくこと。その際は大竹へ電話するように。

(ポイント)

都心軸を「金沢港～犀川大橋」と定義している。根拠が不明。南部地区の配慮がない。野町または有松まで伸ばすべき。野町から発着する石川線は南部地区や白山麓へつながる重要なインフラである。

ICT、IoTを加味する交通システムの記述箇所があり、無人運転、自動運転の新型バスシステム「ART」を暗に進めている魂胆ではないか。

議題3について

- ・蓮井氏から報告。

(路面電車サミット)

3月福井駅前ロータリーにバス停と電停が移設した。しかし課題として、福武線と三国線との総直運転列車は駅前に寄らない。また武生方面からの福武線列車は福井駅前進入にはスイッチバックを要する。

宇都宮教授の講演は素晴らしかった。ヨーロッパなどの事例紹介があり貨物路面電車などの画期的な交通システムの説明があった。

詳細は、7月9日(土)15時からの金沢LRTの定例会議でふくい路面電車と

まちづくりの会の清水氏に来てもらい説明してもらう予定。オブザーバー参加は可能である。

(金沢の新交通システムの状況)

東京都では、オリンピック・パラリンピックの輸送に、BRTを改善したバスシステム「ART」導入を検討している。自動運転のもので、路線は虎ノ門～新橋～お台場。バス停停車も鉄道のホームのように隙間無く乗車可能となる。

金沢市でも新交通システムはARTを有力候補としている模様。路線は駅西～金沢港の50m道路を考えている模様。

集約都市形成計画骨子(案)についても、ART導入を前提とした記述、素案となっている。

(メンバーからの意見)

導入空間確保という点では、ARTは、LRTでより市民の理解が得られやすいのではないかと。このシステム導入契機に、将来的にはLRTに転換がベターかも。

無人運転は、アメリカで事故が起きている。事件や事故に対処できるのか。雪に対応できるか。公道での走行は不安がつきまとう。そもそも自動運転は相当なコンピュータ能力が必要で、実用化には相当期間が要する。自動運転技術は、現在、大学の実験レベルで、商業化や実用化の目途が立っていない。商品価格は値が付けられないだろう。LRTの方が安価で現実的な選択。

議題4について

吉田代表から二つの提案。

その1「松金線廃線跡を訪歩く探訪イベント」

時期は10月頃。

白菊町駅跡の室生犀星記念館に集合し、野町駅前、二万堂、押野丸木、中野々市といった旧北国街道沿いを歩く。野々市文化会館フォルテからは路線バスに乗り、かつての路線であった田中や番匠を通り松任まで向かう。

野々市の歩こう会の関係者にも参加を呼びかける。

その2「金沢の留学生を招いての世界の交通事情を語り合うイベント」

交通インフラが未整備のアジア地域の学生を中心集めた方が良いのではないかと。また学生以外に英会話講師など社会人も声をかけてはどうか。

時期は、冬がよいのでは。その際大学の試験期間を避けることが望ましい。

5. その他

- ・年会費3,000円を徴収する。村中氏まで。
- ・公共交通を守る石川の会が7月30日(土)午後1時30分から、平和と労働会館3階ホールにて、森一敏市議を講師に招いての勉強会を予定している。
- ・金沢LRTの会は、当初夏の道路祭りでのブース出展を取りやめ、8月の新交通システムパブコメ以降、金沢駅周辺でのパネル展示を計画している。決まれば当会からも応援を検討する。

次月予定 … 総会・定例会 28年8月4日(木)、19:00～「あいむ」にて